

議員特別研修実施報告書

報告議員名	播磨 博一	報告日	令和 2年1月16日
調査研究・研修等 名 称	一宮市・瑞浪市・美濃加茂市の取組みについて		
実 施 日	令和1年12月18日 ～ 令和1年12月20日		
会 場	一宮市・瑞浪市・美濃加茂市		
調査研究・研修等の 概 要	一宮市 駅前再開発事業における図書館について 瑞浪市 280MHz帯を使用した防災無線事業について 美濃加茂市 「里山千年構想」について		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙のとおり		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

特別研修所感

播磨博一

岐阜県瑞浪市 「280MHz帯防災ラジオシステム整備事業について」

そもそも防災に対しての姿勢の違いを感じた。横手市においては防災行政無線を廃止する代わりにFMラジオなどで防災情報などを伝達しているが、果たしてそれで十分だろうか、市民に不安はないのだろうか考えさせられた。瑞浪市においては中山間地でも届く周波帯の電波を利用した防災ラジオを全世帯に貸与している。さらに今年度からはデジタル防災行政無線の更新を2年計画で工事中であった。ハード面のみならずソフトでは小規模単位の防災訓練、防災リーダー養成講座、「災害・避難カード」の全世帯配布、作成講習会など自助、共助を中心とした地域防災力の重要性を啓発している。以前研修した北海道芽室町などもそうした二重三重の対策が取られている。防災ラジオも全戸配布になっていない中で防災無線は廃止するという横手市の判断、禍根を残すことにならないか心配である。議論を続けなければならないと思う。

岐阜県美濃加茂市 「里山千年構想について」

里山整備という観点では参考になった部分も多かったが、入り口が違っていた。以前から里山の荒廃が問題になっていたが、それに伴って獣害の影響も無視できないほど深刻な状況になっていることも見聞される。今回視察に訪問した美濃加茂市においてもまさにその対策がスタートだった。地域住民と市が荒れた里山を整備し、その後の管理は地域で行い維持していく制度だが、進めていくにつれ獣害は減少し効果が表れている。近年は同時に資源の活用、里山の活用ということで木工製品の製作、森の幼稚園、企業を含む都市住民との交流など様々な取り組みも行われ、地域の活性化につながっているように感じた。また熱心な職員の存在もあった。課題として感じたのはいかにして地域で後継者を育て維持管理していくかという点だと思うが、きれいに整備された写真を拝見して、横手市においても数ヶ所程、モデル的に取り組んでみても面白い事業になるのではと感じた。

愛知県一宮市 「市立図書館について」

会派で数か所の図書館を視察したが最近はどこも同じような内容の施設が多いように感じる。訪問したのは平日の午後だったが規模や整備内容からして意外に利用者が少なく「あれっ」と思った。図書館だけではないがその他の施設建設にあたっても立地条件によって様々な違いがあると思うがしっかりとニーズの把握と、近隣の施設との関係など多角的に検討する必要性を強く思った。